

# 寺社を巡る会

## 活動記録書

開催日： 平成 28年 11月 3日 (木) 晴れ	開催テーマ： 光明寺と浄土信仰																					
開催場所： 鎌倉材木座地区	記入者： 清水 孝照																					
参加人数： <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">寺社を巡る会会員</td> <td style="text-align: center;">男</td> <td style="text-align: center;">30名</td> <td style="text-align: center;">女</td> <td style="text-align: center;">7名</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">37名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ビジター</td> <td style="text-align: center;">男</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td style="text-align: center;">女</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">0名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">37名</td> </tr> </table>		寺社を巡る会会員	男	30名	女	7名	計	37名	ビジター	男	名	女	名	計	0名	合 計						37名
寺社を巡る会会員	男	30名	女	7名	計	37名																
ビジター	男	名	女	名	計	0名																
合 計						37名																
<p>実施内容（実施の項目、方法、効果、成果、宿題など）</p> <p>コース 鎌倉駅～(バス)～光明寺(山門特別拝観)～千手院～蓮乗院～内藤家墓所～材木座海岸(昼食)～補陀洛寺(法話拝聴)（解散）</p> <p>鎌倉駅東口からバスに乗り約10分、光明寺前で下車。</p> <p>総門を通り抜けると大きな山門が見える。弘化四年(1847)に再建されたもので、五間三戸二階二重門、と呼ばれる。鎌倉に現存する最大の物で、間口は約16m、奥行き約7m、高さ約20mで一階は和風造り、二階は中国風に作られており、五山形式(禅宗仕様)が取り入れられている。狭い急な階段を頭をぶつけないよう気を付けながら登る。二階には釈迦三尊、四天王、十六羅漢木像が安置されており、平成二十三年、法然上人八百年大遠忌を期して普賢菩薩が新彫され、その他の諸像も修復され、極彩色の鮮やかな色で並んでいた。羅漢さんの顔立ちにそれぞれ特長が有り、高僧だが人間らしさも見られて親しみを覚えた。また、どこから来たのか人懐こい飼猫と一緒に上がって来て皆の気を引いていた。二階から海の方を見やると遥か彼方に少し雲が掛かった霊峰富士の頂が見えた。機会があれば天気の良い日にもう一度行ってみたい所だ。</p> <p>国重文の本堂(大殿)は、元禄十一年(1698)に再建されたもので昭和四十九年に大改修された。現存する木造の古建築では鎌倉一の大堂である。この日はピアノの演奏会のリハーサル中と言う事で、中には入れず外回りの廊下から、三尊五祖(阿弥陀如来、観音・勢至の両菩薩、浄土宗の五人の祖師)の石庭を見学した。お十夜法要は、明応四年(1495)後土御門天皇に許されて以来、平和と安泰を願い営まれている。</p> <p>記主庭園は本堂の左手に有り、小堀遠州の作と伝えられている。昭和二十六年に大賀一郎博士が千葉県検見川遺跡で発見した蓮の実から発芽させた古代ハスも植えられている。</p> <p>光明寺境内では他にも開山堂、鎌倉アカデミアの碑、綱引き地藏尊、御廟所を順次巡った。また隣接する蓮乗院、千手院を拝観した。</p> <p>光明寺裏山から車道を下った右側に内藤家代々の墓所が有る。内藤家は関ヶ原の戦い以前から徳川家に仕えていた譜代大名で、陸奥の国磐城の藩主の後に日向国延岡の藩主となり、幕末まで在封した。江戸初期に光明寺の檀家となり、深川の霊巖寺より墓を移した。墓碑、宝篋印塔、仏像、灯籠が並び、これほど大規模な大名の墓所が一か所に纏まっているのは珍しい。</p> <p>材木座海岸で昼食を済ませ、補陀洛寺へ向かいご住職から縁起や貴重な仏像などに関する法話を拝聴した。補陀洛寺は源頼朝の祈願所として文覚上人を開山とし、養和元年(1181)創立された。もとは七堂伽藍の大寺院という。本堂では本尊十一面観音菩薩像、行基作と伝える薬師如来像、運慶作と伝えられる日光・月光菩薩像など多くの仏像を拝観、往時を偲ばせた。また珍しいものとして、平家の総帥・平宗盛が最後まで持っていたとされる「平家の赤旗」を特別拝観させていただいた。</p>																						
参加者の状況・意見など：																						
<p>次回の予定：</p> <p>12月1日(木) 10:00 岐れ道バス停 集合 二階堂地区</p>																						